



みやまえ Miyamae

滑川町立宮前小学校 学校だより

春休み号 令和 2年 3月24日

電話 0493-56-2204 FAX 0493-56-2065

中村哲さんに学ぶ

皆さんのすばらしさは、まず「構え」にありました。心構えの構えです。物事に対する姿勢と言ってもよいと思います。

あいさつができる。掃除をしっかりとやる。人の話に素直に耳を傾ける。目標に向かって努力する。苦手なことにも粘り強く取り組む。そして自ら行動する。こういった姿勢が、学習面や生活面で大いに生かされていました。

教室を訪問するといつも学習内容を理解しようと向上心を持って授業に取り組んでいました。すばらしい授業態度でした。

運動会やなかよし遠足でのリーダーシップ。Mフェスや菅谷班音楽会での素敵な演奏。これらは、全て「良い結果は、良い準備から」の姿勢が生んだ大きな成果でした。

そして、皆さんは、優しい心根を持った子どもたちでした。1年生は、皆さんと一緒に遊んでくれることをいつも楽しみにしていました。また、学校生活に慣れず、不安になって泣いている1年生に優しい声を掛けてくれる姿、登校時に「大丈夫だよ。先生が待っているよ」と励ましてくれる姿に私は頭が下がる思いでした。

この宮前小学校からこんなに立派な皆さんを送り出すことができることに、私も、先生方もとても誇らしく思っています。

この2年、私は、お話タイムや行事などで、考え方や生き方などいろいろとお話してきました。今日がいよいよ最後となりました。まとめの話をします。

2月に入ってから、校長室でふれあい給食を実施しました。皆さんとの交流は、とても楽しいものでした。「校長のどんな話が印象に残っていますか」という質問に対して皆さんの多くが、アフガニスタンで亡くなった「中村哲さんのお話」と応えていました。「十代からのメッセージ」でも吉田結さんが中村哲さんをテーマに発表してくれましたね。私達は、なぜ中村哲さんに共感を覚えるのでしょうか。私なりに考えてみました。



1つ目は、「人を大切にする心」だと思います。アフガニスタンは、「普通の場所が一瞬にして戦場になる」と言われるほど治安が悪く、とても危険な地域です。「なぜ、わざわざ危険な地域に行くのか」という質問に、中村さんは「道で倒れた人を見たら『大丈夫か』と駆け寄るでしょう。それが人間共通の心だと思う。誰も行かないところにこそ、我々が行く意味がある」と応えています。これは、皆さんが友達や下級生に対して見せてくれた優しい心根「困っている人をそのままにしておけない気持ち」そのものだと思います。

2つ目は、「本当に大切なことを見極める力」だと思います。中村さんは、お医者さんとして、まず医療活動を始めました。その後、大干ばつを経験し、アフガニスタンの人々の命を救うのは「水」だと気づき、「100の診察所より1本の用水路」を合言葉に灌漑事業に取り組みました。また、事業を進めるにあたってアフガニスタンの人の民俗や思いを尊重しました。「医療より水」「現地の人の気持ちを大切にしなければ協力は得られない」を見極めました。このことに私達は感動を覚えるのでしょうか。

3つ目は、「行動する力」だと思います。灌漑は大変な事業です。十分な資機材もない中での用水路建設など夢のような話でしょう。それでも、中村さんは、用水路の建設のため土木を一から独学で学びました。大切な仲間の伊藤和也さんを失っても「武器を取る者は取れ。私たちは鉞で平和を実現しよう」と怯みませんでした。仲間の死を乗り越え、現地の人と共に行動し、灌漑事業を成し遂げました。中村さんは生前、息子さんに「口先だけじゃなくて行動で示せ」「俺は行動しか信じない」と行動することの大切さを説いていたそうです。この行動力が私たちの心を揺さぶるのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私達の健康や生活が脅かされています。その影響で、学校は突然の休業を強いられ、さびしい思いや悲しい思いをしている人も多いと思います。今日の卒業式も皆さんのご両親やご来賓をお迎えできずに、先生方も大変残念に思っています。新型コロナウイルス感染症との闘いは長期戦が予想されますが、中村哲さんが教えてくれた「人を大切にする心」「本当に大切なことを見極める力」「行動する力」を持って臨むことできっとこの困難な状況を乗り越えることができると思います。「受苦せし者は、学びたり」皆さんは、今とてもつらい経験を強いられてますが、今回の苦しい経験は、今後の人生を歩んでいくうえで貴重な財産となることでしょう。

(卒業式式辞より)

立派な卒業生でした

3月24日(火)卒業式が実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、児童と教職員のみで実施された卒業式でした。突然の休校となり、練習の時間も取れませんでした。卒業生は、列席していただかなかった保護者や御来賓の気持ちをしっかり受け止め、とても立派な態度で素晴らしい卒業式をつくってくれました。

教育委員会、学校から濃厚接触を避けるための対応をお願いをしましたが、保護者の皆様からありがたい御協力をいただきました。あらためて御礼申し上げます。

